



神戸で、どうして大きな地震が起こったの

関西地方でも、大きな地震は起こっていた

関東・東海地方では、昔から多くの地震が、起こっています。小さな地震が、年に何回か起こり、中ぐらいの地震も、ときどき起こっています。

ところが、京都・大阪・神戸などの関西地方では、関東・東海地方に比べて、地震の回数が少なく、ここ数十年間、被害が出るような地震は、起こっていませんでした。

しかし、昔からの記録を調べてみると、関西地方でも大地震が、たくさん起こっていることが、わかりました。ふだんは、小さい地震が起こることが少なく、ここ十数年の間にも、大きな地震が起こらなかったのも、関西地方では、地震はあまり起こらない、と考えられていたのです。

地震が起こる時期になったから

昔、地震が起こった所は、もう地震が起こらない、ということはありません。長い間、地震が起こっていなくても、いつかは起こります。

兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）は、なんの前ぶれもなく、起こりました。地震はいつ起こるか、正確に知ることはできません。この地震を境に、関西地方が地震の活動期に入った、と考える学者もいます。（監修・国司 真）

